

# 資料がつなぐ大学と博物館 II

## —資料情報の基盤とその活用—

2017 3/  
月・祝 **20**

当日参加受付  
聴講無料

国立歴史民俗博物館では現在、「総合資料学の構築」を目指して準備を進めています。

「総合資料学」とは、多様な「モノ」資料を時代・地域・分野等によって分類し、

分野を超えた視点から統合的に分析することで、高度な共同利用・共同研究へと結びつける新たな学問です。

本全体集会では、今年度の成果報告を行うとともに、大学と博物館、研究機関との連携について多方面から検討し、次年度以降の研究への橋渡しとしたいと思います。

プログラム 10:00～17:00(開場/9:30)

- 10:00 開会・趣旨説明／西谷 大 国立歴史民俗博物館
- 10:05 講演・対談  
「デジタル時代の歴史実践：  
総合資料学の未来」  
小澤 弘明 千葉大学・久留島 浩 国立歴史民俗博物館  
聞き手／西谷 大
- 13:15 活動報告1／後藤 真 国立歴史民俗博物館  
コメント／宇陀 則彦 筑波大学
- 14:10 活動報告2／三上 喜孝 国立歴史民俗博物館  
コメント／原山 浩介 国立歴史民俗博物館
- 15:15 活動報告3／西谷 大 国立歴史民俗博物館  
コメント／齋藤 努 国立歴史民俗博物館
- 16:10 総評／岩崎 奈緒子 京都大学総合博物館
- 16:30 全体討論
- 17:00 閉会

<会場>

東京工業大学

レクチャーシアター

(西5号館3階W531講義室)

東京都目黒区大岡山2-12-1



会場案内図



<交通案内>

東急大井町線・目黒線「大岡山駅」下車、南口より徒歩0分。